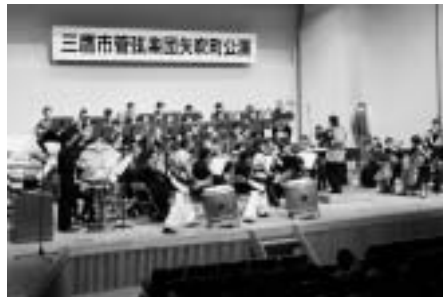


主な交流の足跡



三鷹市管弦楽団矢吹町公演



老人クラブ連合会交流会



農業後継者交流会



子ども交流会



バレーボール交流

東日本大震災での支援



物的支援 地震による断水、原発被害により物流が滞った町に、水や米、生活用品、水道工事の資材などが届けられました。



義援金・復興支援金 三鷹市及び市内の企業・団体、個人の皆さんなどから、合わせて約900万円の善意が寄せられました。

人的支援 罹災調査及び公共施設被災状況調査に延べ34人、土木施設及び農地・農業施設災害復旧に延べ11人の職員を派遣いただきました。



新川中原コミュニティ祭り



大沢コミュニティ祭り

風評被害払拭 市内で開催されるイベントに矢吹町農産品の販売コーナーを設置。町の安全安心な農産品をPRしています。

50年という輝かしい節目を迎え、今後より一層の交流を深めていくことを誓い、「矢吹町・三鷹市姉妹市町締結50周年記念事業」が実施されます。

5月31日・10月11日	米作り体験ツアー
7月26日～27日	バレーボール交流事業
8月17日～19日	矢吹町・三鷹市子ども交流会
9月21日	やぶき復興感謝祭
9月21日	三鷹市管弦楽団矢吹町公演

このほかにも、山岳会など各団体での交流事業が予定されています。なお、三鷹市では記念事業として三鷹市民駅伝等が開催される予定です。

～住民同士の交流が育む「絆」～
矢吹町・三鷹市姉妹市町締結50周年

矢吹町と東京都三鷹市は、昭和39年7月2日に「両市町間の理解と親善を深め、経済の提携を盛んにし、特に中小企業の育成と郷土発展を策し、両住民の福祉増進に貢献する」ことを目的として、姉妹市町を締結しました。

また、昭和60年10月1日には姉妹市町災害相互応援協定を締結。東日本大震災で甚大な被害を受けた町に、三鷹市の皆さんから迅速に様々な救いの手が差し伸べられ、復旧・復興の大きな力となったことは言うまでもありません。

姉妹市町締結から今年で50年。議会、行政の交流はもとより、スポーツ、芸術文化、産業等の様々な分野で、両市町住民同士の交流が育まれています。

東京都三鷹市

人口：約181,000人（平成26年6月現在）
面積：16.50平方キロメートル
市の木：いちよう
準市の木：けやき
市の花：はなかいどう
準市の花：あさがお・コスモス・かんつばき
位置：都心から西へ約18キロメートル、東京都のほぼ中央に位置し、東は杉並区、世田谷区に、西は小金井市、南は調布市、北は武蔵野市に隣接。

昭和39年～
消防団の交流



三鷹市から町へ消防車43台が譲渡されました。

昭和47年～
子ども交流

昭和49年～
野球交流

昭和51年～
バレーボール交流

昭和52年～
三鷹市管弦楽団の公演

昭和54年～
議会議員交流

昭和55年～
山岳交流

昭和58年～
芸術文化交流

昭和60年～
農業委員会交流
など



5月31日 米作り体験ツアー
(矢吹町神田地区)



矢吹町・三鷹市姉妹市町交流50周年に寄せて



三鷹市長
清原 慶子

昭和39年に三鷹市と矢吹町とが姉妹市町関係を締結して以来、今年で50年という節目のときを迎えています。半世紀にわたり両市町の交流が深められてきたことを、皆様とともに喜びたいと思います。

この間、行政や議会の交流はもちろんのこと、三鷹市民駅伝大会での矢吹町招待選手のご活躍、三鷹市管弦楽団の矢吹町での定期公演など、スポーツや芸術文化を中心に、様々な世代で交流が深められてきました。矢吹町の皆様は、この間、平成23年3月11日に発生した東日本大震災からの復旧・復興に向けて、懸命なご努力を重ねられてきたことに深く敬意を表します。三鷹市では、市民の皆様や市からの義援金や物資の支援をはじめ、道路等の復旧に貢献する技術職など職員の派遣をさせていただきました。特に、農産物への風評被害の払拭に向けて、住民同士の農業を通じた交流が深まっています。長きにわたる交流の歴史と結ばれた固い絆があればこそ、矢吹町の復興に向けての連携が進んだと考えます。

今年度は姉妹市町締結50周年事業などで、矢吹町が作成された記念ロゴデザインを活用させていただき、友好の絆をさらに深めたいと思います。そして、これまで共に築き上げてきた有形無形の財産を次の世代に継承し、新たな未来の創造に向けて両市町がさらに発展することを心から願っています。



矢吹町長
野崎 吉郎

矢吹町と三鷹市は昭和39年7月2日に姉妹市町締結して以来、様々な交流を通じた三鷹市の皆様の数々のおもてなし、更に、東日本大震災では物心両面に亘り多大なご支援を賜りました。

この場をお借りしまして、三鷹市の皆様へ心より御礼申し上げます。

さて、本年、姉妹市町締結50周年という大いなる節目を迎えることができました。これまで、議会、行政の交流をはじめ、民間交流として、スポーツ、芸術文化、物産、まちづくりにいたる幅広い住民同志、人と人、心と心のふれあいを育み、友情の輪を広げ、引き継がれてきました。

こうした実り多い交流の歴史は、関係者の皆様のたゆまぬご努力はもとより、住民レベルでの自主的な交流が定着し、各種団体が互いに刺激を受け合いながら友好を深めてきた足跡であり、私達にとってかけがえない財産として、心の中に深く刻まれております。

こうした中、東日本大震災という未曾有の災害では、これまで築き上げてきた友好関係が、更に深い「絆」として結ばれ、今後も新たな交流の歴史として刻みこまれることと確信しております。

今後も、この50周年を契機に両市町の「絆」が益々深まり、交流の輪が更に広がることをご祈念申し上げます。